

## フェリッペ・ガルデラ主席公使送別レセプション

11 月下旬帰任のフェリッペ・ガルデラ主席公使(在日アルゼンチン大使館)の送別レセプションが、大使公邸に於いて 11 月 10 日(金)夕、盛大に行われました。

大らかで快活な公使の人柄から、各国大使館、日本政府、芸術、音楽界等多彩な方々が出席されました。またアルゼンチンと所縁の深い茨城県境町と福島県川俣町からもいらっしゃいました。日本アルゼンチン協会からは、寺本常務理事、藤田/木村両理事が出席し公使との別れを惜しむとともに列席の皆さまと懇親を深めました。

ペロー大使は、外交官研修所同期のガルデラ公使とは初めからとても仲良しだったが、一緒に働くのは数十年が経ったここ日本だったのを運命的に感じると、挨拶の中で触れられました。

ガルデラ公使は、ペロー大使を最高の大使・上司(Jefe)であるとともに、この上ない友人だと二人の友情をお話しされました。在日中は日本語が自由でない公使の支えとなった秘書の方々の名前を一人一人呼ばれ感謝し、「日本での全てを心に留めます」と述べられ、傍らで聞いていたマレナ夫人は目を潤ませ、日本をとっても気に入リエンジョイされたことを思い出されているようでした。

最後に公使は、「ARIGATOU GOZAIMASHITA」と深くお辞儀をされ日本への感謝を表されました。ふとバルコニーから見ると、東京タワーのイルミネーションがアルゼンチンブルーとホワイトにライトアップされ、公使とマレナ夫人のこれからを照らしているかのようでした。

### 大使の温かな送る言葉 と 日本との別れを惜しむ主席公使ご挨拶



公使と藤田理事



(文責: 当協会業務執行理事 木村敏夫)